

呼吸器外科の道に進む女性が 増えていることを実感

しなやかに乗り越えて、辞めずに呼吸器外科を続けて欲しい

皆さま、こんにちは。獨協医科大学の前田寿美子です。ある日突然、胸部外科学会からニュースレターへの投稿依頼が舞い込みました。与えられたテーマは「女性医師の立場から」。私が最も苦手とするテーマです。そもそも女性医師と一言で括られても、均一な集団ではありません。果たして何を書くべきかと途方に暮れましたが、これも修行と思ってお受けしました。

私が医師になった頃は、呼吸器外科学会総会に行っても二日間で遭遇する女性の医師は一人か二人。それが近頃は、一会場に少なくとも五人は見かけるようになりました。約二十年かかりました

が、確実に呼吸器外科の道に進む女性が増えていることを実感します。せっかく増えた仲間には、この先のライフイベントを、ある時はギアチェンジ、ある時はちょっと回り道してでもしなやかに乗り越えて、辞めずに呼吸器外科を続けて欲しいと願います。

さて、我が身を振り返ると、これまで女性であることが選ばれる理由であったことは皆無でしたが、ここ数年、女性であるが故に選ばれたのであろう出来事がいくつかありました。胸部外科学会の推薦評議員に選任いただいたのも、その一つと思われます。理由はどうあれ、選任されたからには頂いた任務をしっかりと務

めて参りたいと思いますし、そうすることが、女性医師への機会均等につながると思っています。

苦手な話はこれにて終了。私はクリーブランド留学中にバードウォッチングの楽しさを知りました。双眼鏡さえあれば始められますし、仲間と一緒にでも一人でも楽しめます。耳と目の感度を最大限にあげて双眼鏡にお目当ての鳥を取めるに

は、集中力と忍耐力、反射神経が必要です。なんだかスポーツみたいですが、単純に、鳥たちの美しさや体いっばいでさえずるその姿に魅せられます。日本では竜飛岬、小笠原、根室沖、舩倉島などに探鳥に出かけました。さあ、次のお休みはどこで鳥みよう？どなたか一緒にしませんか？



前田 寿美子
(獨協医科大学 呼吸器外科学講座)
卒業大学：東北大学

簡単な経歴：
1995年4月 東北大学抗腫瘍病研究所外科（現在の加齢医学研究所呼吸器外科学分野）入局
その後、仙台厚生病院、太田西ノ向病院、東北大学加齢医学研究所附属病院などで研修
2002年3月 東北大学大学院医学系研究科 修了
2002年9月～2004年8月 米国オハイオ州Case Western Reserve University留学
帰国後、金沢医科大学、富山県立がんセンター、東北大学病院に勤務
2016年4月より現在の所属
趣味：バードウォッチング・文房具あつめ
好きな言葉：初志貫徹